

品名	灯具品番	適合アーム	適合ポール	適合ランプ	
モールライト XY6725	YA42745 ×1	YD755	YD3511K YD3513K YD9485 トクポール (モールライト用3.5m) φ76タイプ (コーヒープラウン)	メタルハライドランプ (L2タイプ)	M100・L-J2/BU-PS MF100・L-J2/BU-PS
				マルチハロゲン灯	M100・L/BU MF100・L/BU
モールライト XY6726	YA42745 ×2	YD756	トクポール (モールライト用4.5m) φ101タイプ (コーヒープラウン)	ハイゴールド (効率本位形)	NH70 NH70F
				水銀灯	H40~100 HF40~100X
モールライト XY6727	YA44745 ×1	YD757	YD4513K YD4516K YD9305K YD9495 トクポール (モールライト用4.5m) φ101タイプ (コーヒープラウン)	バラストレス水銀灯	BH100~110V100W・C BH200~220V100W・C BH100~110V100W・W BH200~220V100W・W
				セラメタH	MF200~250C・L/BU
モールライト XY6728	YA44745 ×2	YD758	YD4513K YD4516K YD9495 トクポール (モールライト用4.5m) φ101タイプ (コーヒープラウン)	メタルハライドランプ (L2タイプ)	M200~250・L-J2/BU-PS MF200~250・L-J2/BU-PS
				マルチハロゲン灯	M (MF) 200~250・L/BU-P M (MF) 250・L/BU-SC-2
				エコセラⅡ	CM190~230F・L-LW/BU CM190~230F・LE-W/BU
				ハイゴールド (効率本位形)	NH110~220・L NH110~220・LS NH110~220F・L NH110~220F・LS
				ハイゴールド (演色改善形)	NH180~220D・L NH180~220FD・L
				ハイカライト	K-HICA150~250・G K-HICA150~250・H K-HICA150~250F・G K-HICA150~250F・H
				水銀灯	H200~250 HF200~250X
				バラストレス水銀灯	BHF200~220V250W

* 適合ランプについて・・・器具としては上記ランプが適合しますが、ご使用にあたっては別途手配の安定器に適合するものをお選びください。(パナソニック製ランプをご使用ください。)

* ポールの取扱説明書は、別途ポール本体に添付しております。必ずご参照ください。

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

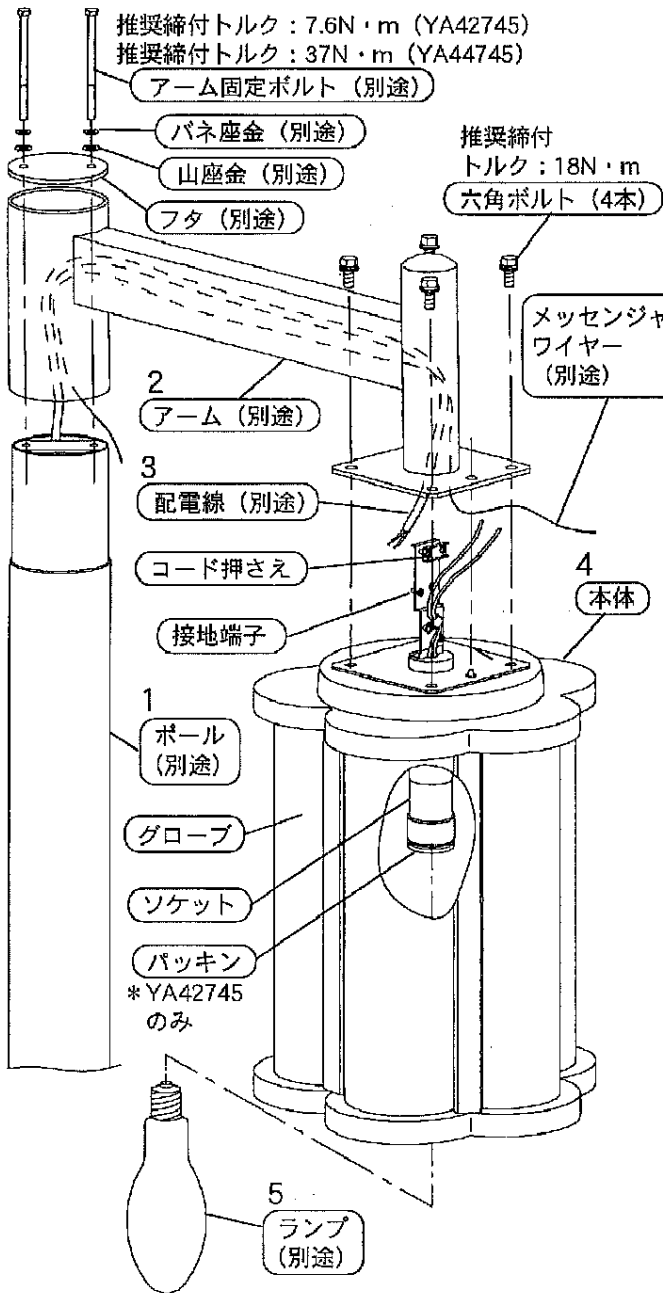
⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実にこなす。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 吊下取付専用器具です。横向き、上向きには取付けはできない。浸水による、落下・感電・火災の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所、湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地帯では使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- かけやひび割れの発生しているグローブは使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ポールを含めた全長で6mを超えるような状態では使用不可。(灯具の耐風速60m/s)
適合以外の組み合わせでは使用しない。強風による落下の原因となります。

⚠ 注意

- 口出線との接続は、スリーブなどにより確実にし、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。接続に不備があると感電の原因となります。
- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実にこなしてください。
接続に不備があると、感電の原因となります。
- 周囲温度が35℃以上の場所では使用しないでください。火災・ランプ短寿命の原因となります。
- 安定器別置型です。使用するランプ・電圧・周波数を確認のうえ、適正なものを選んでください。
ランプの破裂・火災の原因となります。
- ランプは、器具・安定器との適合とランプの使用制限を確認のうえ、ご使用ください。
ランプの破裂・火災の原因となります。
- グローブはアクリル製ですので衝撃が加わると破損する恐れがあります。ご注意ください。

各部のなまえと取付け方



警告

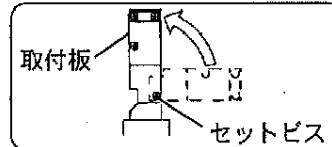
施工は取扱説明書に従い、確実にこなしてください。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

- 1.ポールに配電線・アース線を通す
- 2.アームとポールの固定

- ・配電線をアームに通してあるメッセンジャーワイヤーを利用してアームに通してください。
- ・ポールとアームを六角ボルト、パネ座金、山座金で確実に固定してください。
推奨締付トルク：7.6N・m (YA42745)
推奨締付トルク：37N・m (YA44745)
- ・線のかみ込みにご注意ください。
感電の原因となります。

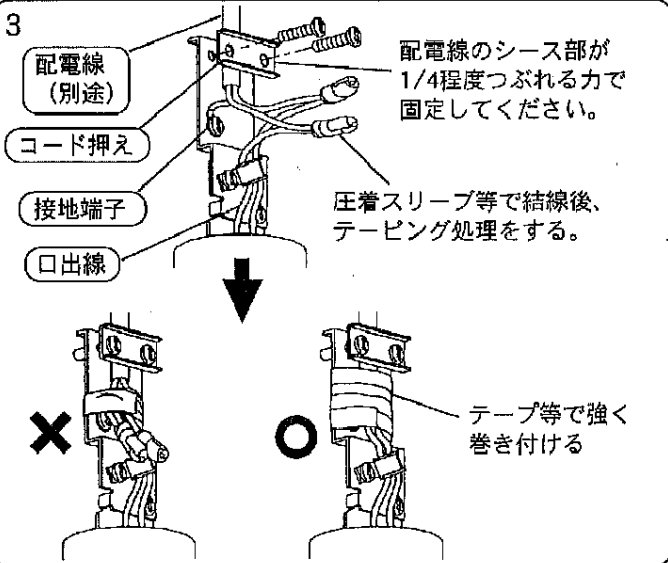
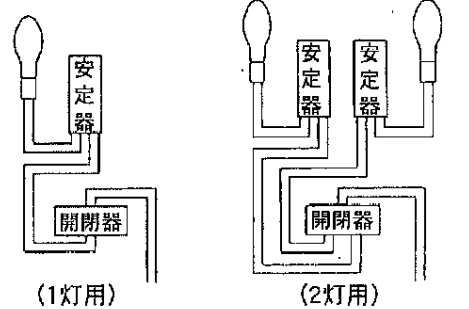
- 3.配電線の接続

- ・取付板を回転させてセットビスで固定する。



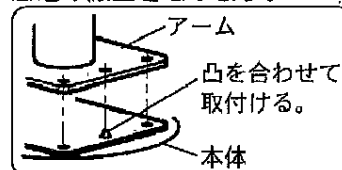
- ・配電線のシース部をコード押さえでしっかりと固定する。
- ・配電線の押さえ量は配電線外径の1/4程度としてください。
押さえ込みすぎると絶縁破壊の原因となります。
- ・配電線を口出し線に結線する。
口出し線との接続は、スリーブ等により確実に、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。
- ・接地端子を使用して、D種（第3種）接地工事を行ってください。
接地が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

結線図



- 4.本体の取付

- ・本体の凸をアームに合わせ六角ボルトでしっかり締める。
推奨締付トルク：18N・m
固定が不十分な場合、落下の原因となります。
- ・線のかみ込みにご注意ください。
感電の原因となります。



- 5.ランプの取付

- ・ランプを確実に取付ける。
取付けが不十分な場合、落下の原因となります。
- ・必ず適合ランプを使用してください。
ランプ不点及び、破裂の原因となります。

工事店様へ お客様の施設の安全で便利な保守のために、最後のページの施工記録表の各欄に記入し、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いいたします。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、落下・感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
- かけやひび割れの発生しているグローブは使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ランプ交換は、各部のなまえと取付けかたにしたがって確実にこなう。不備がありますと、落下・感電・火災の原因となります。

⚠注意

- 周囲温度が35℃以上の場所では使用しないでください。火災・ランプ短寿命の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切り、器具が十分に冷えてから行なってください。感電・やけどの原因となります。
- ランプ交換は、器具・安定器との適合とランプの使用制限を確認のうえ、行なってください。ランプの破裂・火災の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- グローブはアクリル製ですので衝撃が加わると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
 - ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。
 - 点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

■保証について

- ・保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換 ⚠注意（必ず電源を切って行なってください。感電・やけどの原因となります。）

- ・器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、石けん水を浸した柔らかい布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤でふかないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について・・・器具・安定器との適合とランプの使用制限を確認のうえ行ってください。
(パナソニック製ランプをご使用ください。)

点灯中や消灯後しばらくは、ランプが高温になっておりますので素手でさわらないでください。やけどの原因となります。

お客様へ ランプ交換など保守のために、下表内容をご確認のうえ、適切な保守用品をお求めください。なお、安全のために保守作業は、出来るだけ工事店にご依頼ください。

保守・点検のために

<施工記録>

器具品番		保守作業上の注記
取付年月日		
使用ランプ品番		
使用安定器品番		